

和歌山

地域面3ページ

和歌山支局

〒640-8154 和歌山市六番丁5
和歌山第一生命ビル4階
TEL 073(431)1411
FAX 073(433)0650
wakayama@mainichi.co.jp

【通信機関】

橋本 0736(32)0063 新宮 0735(28)1751
海南 073(482)0675 御坊 0738(22)2511
湯浅 0737(62)2870 田辺 0739(26)1026

【広告問い合わせ】

073(423)9291

【購読問い合わせ】

0120-468012

マーク・矢崎

29

夕オルの町 泉佐野へ

絵と文・熱田親喜 題字・熱田秦華

熊野古道

みちのくを記

25

大阪府内の熊野古道を訪ねて泉州を更に南下してJR和泉橋本駅(貝塚市)で下車。原宮遺跡を左手に見て踏切を渡り、イオン貝塚店〜貝塚市立南小学校



吉祥園寺(大阪府貝塚市王寺町)にて

霧雨気を感じさせた。祥音寺の記載があり、街道筋を少し入ったところには、廃業したタオル工場や現役の縫製工場などが見られ、歴史の展示ブスのようだった。海から貝に乗って出現したといわれている本尊の十一面観音像が有名な王子町の吉祥園寺は案内標識が見当たらず、たどり着くのに苦労した。その吉祥天女像はあまり

ある世俗の僧が愛を感じ、「結婚してください」との願を重ねていたある夜、夢の中で結ばれたという奇異な縁が日本霊異記に伝えられているという。ふと、学生時代、当麻寺(奈良葛城市)の弥勒菩薩の女性美に愛を感じた人の新聞記事を読み出し、重なった。

後鳥羽院熊野御幸記(1201年)にも「吉

に美しいため、信州の会いた。1872(明治5)年、イギリスから初めてタオルが輸入され、Towel Clubで差別化を図り、05(平成17)年に「泉州こだわりタオル」を商標登録。①優れた吸水性②おろしたてで使える③心地よい肌ざわり―を地域ブランド戦略の三本柱にしたと、樫井専務理事は自信たっぷりだった。個性が求められる時代となった。一定の工程で化学薬品を使用しないタオル「Green Tower」

内産のもう一つの雄、今治タオルはギフト用がメインであるのに対し、泉州タオルは日本手ぬぐいがルーツの生活用品である。親しみと信頼性をブランド戦略にどう結びつけるかが勝負と感じ、今後の成功を願った。

裂け柘榴ほどこし溢る天女像 秦華

(次回は11月12日掲載予定)

日本手ぬぐいがルーツ

「打出」を考案、国内タオル産業の創始者となり、佐野村は日本タオル発祥の地となった。

その後、今治タオルの歴史が94(明治27)年に始まり、日本タオル産業は発展した。平成13(2001)年に国産と輸入の比率が逆転。国産は新しい方向